

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
2025年度(令和7年度)事業計画

自：2025年4月1日

至：2026年3月31日

1. 第15回定時社員総会

期日：2025年5月28日(水)

会場：東京理科大学森戸記念館第2フォーラム
オンライン併用開催。

議事

- (1) 2024年度(令和6年度)事業報告並びに決算報告、剰余金処分の件、会計監査報告の承認に関する件
- (2) 2025年度(令和7年度)事業計画並びに予算案の承認に関する件
- (3) 学会誌郵送希望者の会費改定の件
- (4) 2024年度学会各賞選考結果報告
- (5) 特別講演会
 - ・第7次エネルギー基本計画について(仮)
新エネルギー課 妙中駿之
 - ・作物の生産生理の視点から見る営農型太陽光発電の現状と可能性
近畿大学 堀端 章
 - ・第7次エネルギー基本計画を踏まえた風力エネルギー利用の展望
佐賀大学／九州大学 吉田茂雄

2. 理事会

6回/年 開催し、遅滞なく業務を執行する。

3. 各種委員会

3.1 事業委員会(委員長：佐川耕平)

- (1) ソーラーカー製作講習会は東日本地区で開催を企画する。
- (2) 学会誌287号へ特集記事「ソーラーカーと車載PV」を企画する。

3.2 広報委員会(委員長：桶真一郎)

- (1) 「第20回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」(2026年1月28日～30日)アカデミックコーナーに本会ブースを設け本会の活動内容をPRする。
- (2) ホームページの会員向けサービスの充実ならびに非会員向けに学会活動のPRを図る。

3.3 学会誌編集委員会(委員長：吉永美香)

- (1) 学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society」をVol. 51, No. 3(通巻287号)～Vol. 52, No. 2(通巻292号)までの6回発行する。各号特集記事の充実を図る。
- (2) 太陽エネルギー利用に関連する教育講座や国際会議報告、研究室紹介等を掲載し、幅広い会員に親しめる学会誌編集を行う。
- (3) JSES50周年記念事業の一環として289号に設立50周年

記念特集号を企画する。特集記事の一つとして若手研究者を集めた座談会「持続可能な社会における日本のあり方とJSESへの期待(仮)」を企画する。

3.4 研究発表会運営委員会(委員長：加藤和彦)

- (1) 2025年度JSES研究発表会を以下のとおり予定する。
開催日：2025年11月2日(日)～3日(月)
会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー
JSES設立50周年記念事業特別講演会・祝賀会と同時開催
- (2) 見学会の開催は未定

3.5 学会活性化委員会(委員長：山田 昇)

- (1) 若手研究者とベテラン研究者との有益なディスカッションを期待してJSES・若手研究発表会を7月31日(水)にオンライン開催する。優れた発表には「若手研究発表会奨励賞」を贈呈する。

3.6 表彰委員会(委員長：太田 勇)

- (1) 「論文賞」(太和田賞、谷辰夫賞を含む)、「奨励賞」(谷辰夫奨励賞を含む)、「学会賞(学術部門)」「学会賞(技術部門)」「若手研究発表会奨励賞」「功労賞」の受賞者を選考し、研究開発ならびにその実用化促進に関する優れた業績を顕彰する。なお、「奨励賞」については研究発表会において予備審査を行う。

3.7 国際交流委員会(委員長：松原弘直)

- (1) KSESとの相互交流としてお互いの研究発表会で相互に発表の機会を設ける。

3.8 学会規程委員会(委員長：岡島敬一)

各種規程の整備、見直し、改定を推進する。

3.9 教育委員会(委員長：大竹秀明)

- (1) 教育目的の利用を促進するためにPPT資料の公開を継続実施する。
- (2) JSES有識者へのインタビュー形式教育ビデオ(第3弾)の制作を予定する。

3.10 設立50周年記念事業準備委員会(委員長：加藤和彦)

- (1) 50周年記念事業として特別講演会・祝賀会を実施する。
開催日：2025年11月2日 午後
会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー
- (2) 絵画コンテスト
小・中学生を対象に、「再生可能エネルギーと未来のくらし」をテーマとした絵画を募集する。
- (3) 作文コンテスト
高校生から大学生までを対象に、「再生可能エネルギーがひらく未来」をテーマとした作文を募集する。

- (4) 太陽光発電部会主催「JSES-PVResQ!夏合宿 2025」を9月に開催する。
- (5) 事業委員会として学会誌 287 号に「ソーラーカーと車載PV」特集号を企画し一般販売する。
- (6) 学会誌の連載エッセイ「それぞれのサンシャイン物語」を継続して掲載する。
- (7) 50 周年事業の一環としてソーラー建築ガイドブックを発刊する。

3.11 脱炭素社会推進会議（担当理事：太田 勇）

- (1) 定例会に出席し JSES として運営に協力する。

4. 各種部会

会員相互交流の他、新規会員の拡充を図るため、各部会において勉強会、セミナー、講演会等を企画運営する。

4.1 太陽熱部会（部会長：原 人志）

- (1) 「RE2026 フォーラム(2026 年 1 月 28 日～30 日)」にて太陽熱分野の企画運営へ協力する。
- (2) 産業用および大規模太陽熱利用に関する勉強会を継続して実施する。

4.2 太陽光発電部会（部会長：宮本裕介）

- (1) セミナーとして以下の 5 件を予定する。
 - ・「営農型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン関連セミナー(仮)」7 月頃
 - ・「PVResQ!夏合宿」9 月 3 日～5 日 於磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」
 - ・「太陽光発電設備・風力発電設備の雷被害とその対策」7 月 18 日 於愛知工業大学本山キャンパス（風力・水力部会と共催）
 - ・「太陽電池のリサイクル関連セミナー(仮)」12 月頃
 - ・「ペロブスカイト太陽電池関連セミナー(仮)」2026 年 1 月頃

4.3 光化学・バイオマス部会（部会長：堀端 章）

- (1) シンポジウム・見学会として以下を予定する。
 - 「営農型太陽光発電の現状と課題(仮)」8 月以降
 - 「クボタ農機グローバル技術研究所の見学会」未定

4.4 ソーラー建築部会（部会長：太田 勇）

- (1) ソーラー建築に特化したガイドブックを完成させ講座を立ち上げる。

4.5 風力・水力部会（部会長：吉田茂雄）

- (1) 「太陽光発電設備・風力発電設備の雷被害とその対策」7 月 18 日 於愛知工業大学本山キャンパス（太陽光発電部会と共催）
- (2) 風力関連の講演会・見学会を秋頃に企画する。

4.6 100%再生可能エネルギー部会（部会長：秋澤 淳）

- (1) 第 7 次エネルギー基本計画を受け長期エネルギーシナリオをテーマとするセミナーを上期に企画する。

- (2) 10 月 25 日に開催される日本機械学会「新☆エネルギーコンテスト」へ協賛団体として協力する。
- (3) 50 周年記念行事に合わせたシンポジウムを企画する（2025 年 11 月 3 日予定）。
- (4) 再生可能エネルギー利用を実装した ZEB やその他施設の見学会を 12 月～1 月頃に予定する。
- (5) 100%再生可能エネルギー化に関する勉強会(年 2～3 回程度の開催)を予定する。

4.7 地域脱炭素部会（部会長：伊高健治）

- (1) 100%RE 部会と共同で 50 周年記念行事に合わせたシンポジウムを企画する（2025 年 11 月 3 日予定）
- (2) 再生可能エネルギー利用を実装した ZEB やその他施設の見学会を 12 月～1 月頃に予定する。
- (3) ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）・省エネルギー等に関する勉強会を年 2～3 回開催する。

5. 関西支部の行事（支部長：伊藤省吾）

見学会、シンポジウム等を開催し関西地区会員の啓発活動を行う。

- (1) 見学会(9 月実施予定)
- (2) ペロブスカイト太陽電池に関するシンポジウムを 12 月 10 日大阪公立大学にて開催する。
- (3) 第 5 回研究室探訪(9 月頃に実施予定)
- (4) 幹事会 3 回/年を実施する。

6. 会員増加と財務基盤強化

- (1) 会員増加を目的として、団体会員の区分け・会費見直しを実施したが、会員の退会数が入会数を上回っており十分な成果が得られていない。団体会員にとってのメリットを良く検討し新規入会を促す。
- (2) 会員の高齢化による個人会員の退会者が増加している。学生会員の個人会員への移行と個人会員継続を図る。
- (3) 学生会員は会費を無料にしたことにより学生会員数および研究発表会の発表件数は増加している。さらに若手研究発表会等を通して研究発表会での発表件数増を図る。
- (4) 論文投稿数は増加傾向にあるので、さらに研究発表会での発表を論文投稿につなげていくよう座長の論文投稿推薦意見を活用し投稿を促す。
- (5) これらの施策に加えて各種委員会・各種部会の事業を通して個人会員、団体会員の増加を図る他、講演会やセミナー等の事業を強化する。
- (6) 学会誌郵送希望者の会費改定による収入増を図るとともに、学会誌の電子版化を進め環境への配慮を示す。
- (7) 上記施策を実施することにより経営の安定化、ならびに財務基盤の強化を図る。

2025年度一般会計収支予算

自：2025年4月 1日 至：2026年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	2024年度 実績(A)	予 算 (B)	B/A (%)	備 考
前年度繰越金	10,795,841	10,795,841		
会費				
団体	4,733,332	4,133,332	87.3%	退会5社, 新規加入3社
個人	5,494,800	5,208,000	94.8%	12,000*419人+12,000*30人*1/2年
シニア	203,600	302,400	148.5%	44人+終身会員38,400
学校	10,000	10,000	100.0%	1校
学生	0	0		年会費無料
入会金	222,000	270,000	121.6%	個人30人分, 学生60人
臨時会費	0	1,000,000		40周年時と同額
(小計)	10,663,732	10,923,732	102.4%	
学会誌				
購読料	280,321	336,000	119.9%	定期購読・バラ売り(販売単価改定)
広告掲載料	528,200	471,600	89.3%	定期掲載料
論文掲載料	1,110,000	1,100,000	99.1%	20編目標
(小計)	1,918,521	1,907,600	99.4%	
研究発表会				
登録費	2,109,000	2,530,000	120.0%	目標登録者数: 一般150名+学生80名
見学会・懇親会	373,400	715,000		懇親会100名, 論文抜き刷り
論文集・展示・広告	46,200	56,000	121.2%	CD-ROM8枚相当
助成金	100,000	0		
(小計)	2,628,600	3,301,000	125.6%	
各種事業・部会等				
部会セミナー・講演会	572,000	1,680,000	293.7%	セミナー11回(PV3回180k, 合宿700k, バイオマス2回200k, 100%RE3回520k, 地域脱炭素2回80k)
関西支部	76,059	160,000		見学会, シンポジウム
ソーラーカー講習会	802,276	900,000	112.2%	参加費700K, 特集号販売200k
50周年記念事業		500,000		団体会員賞
その他出版物	0	5,000		ガイドライン等
(小計)	1,450,335	3,245,000	223.7%	
雑収入				
著作権料・利息等	42,231	10,000	23.7%	
総会懇親会他	54,000	150,000		
積立金(表彰)繰入	200,000	350,000		谷辰夫基金(350k)
雑収入	0	0		
寄付金	10,000,000	0		
(小計)	10,296,231	510,000	5.0%	
当年度収入計	26,957,419	19,887,332	73.8%	
合 計	37,753,260	30,683,173	81.3%	

支出の部

(単位:円)

科 目	2024年度 実績(A)	予 算 (B)	B/A (%)	備 考
委員会費				
理事会・委員会	108,880	50,000	45.9%	総会案内開催はがき, 総会会場料, 懇親会 谷辰夫基金から支出
総会・懇親会	284,324	200,000	70.3%	
表彰費	71,951	0	0.0%	
太和田賞	200,000	0		
谷辰夫賞	243,093	350,000		
(小計)	908,248	250,000	27.5%	
学会誌				
製作費	3,506,360	3,330,000	95.0%	100p150部, 電子版配信分減額(200部)▲120k 250頁分
原稿料	574,000	500,000	87.1%	
郵送料・封筒	356,946	224,946	63.0%	
(小計)	4,437,306	4,054,946	91.4%	郵送料値上げ(10円×150部)輸送部数減(150部)▲132k
会費・協賛金	123,500	123,500	100.0%	ソ振協120,000-, 協会けんぽ
研究発表会				
印刷費(J-STAGE掲載料)	478,500	478,500	100.0%	見学会100,000, 懇親会650,000- 会場・備品使用料, KSES招待費, パネルレンタル
見学会・懇親会	417,365	750,000		
開催費	570,741	603,026	105.7%	
(小計)	1,466,606	1,831,526	124.9%	
各種事業・部会等				
部会セミナー・講演会	223,967	830,000	370.6%	PV40k, 合宿340k, バイオマス100k, 100RE300k, 地域脱炭素50k ▲160k テキスト印刷・郵送費 絵画・作文コンテスト賞品, 講演謝金 ソーラー建築部会出版費用(資産計上予定)
関西支部	130,640	235,000	179.9%	
ソーラーカー講習会	361,382	361,000	99.9%	
50周年記念事業		700,000		
その他	0	2,640,000		
(小計)	715,989	4,766,000	665.7%	
維持経費				
通信・郵送・振込料	278,187	280,000	100.7%	郵便料, 電話料, 振り込み料 HP更新131,500 130,000/月 6月引越し更新料5か月 電気・水道料 複写機・サーバーリース, 弥生保守, ファイアーウォール更新 業務災害補償保険+火災保険 文具・消耗品・OA機材, 引越費用 谷辰夫基金創設 消費税
ホームページ維持費	14,818	15,000	101.2%	
借室料	1,579,000	1,820,000	115.3%	
光熱費	104,694	100,000	95.5%	
リース料	682,135	700,000	102.6%	
保険料	65,460	84,460	129.0%	
消耗品・複写料	91,363	90,000	98.5%	
雑費	66,721	750,000	1124.1%	
表彰資金積立	0	9,756,907		
租税公課	63,900	63,900		
貸倒損失	48,000	0		
(小計)	2,994,278	13,660,267	456.2%	
人件費				
職員給与	6,520,454	6,700,000	102.8%	給与 法定福利費
福利厚生費	93,480	100,000	107.0%	
旅費交通費	300,465	200,000	66.6%	
その他	0	0		
(小計)	6,914,399	7,000,000	101.2%	
法人税等	70,000	70,000	100.0%	
税理事務所報酬	528,000	528,000	100.0%	
(小計)	598,000	598,000	100.0%	
当年度支出計	18,158,326	32,284,239	177.8%	
次年度繰越金		▲ 1,601,066		
合 計		30,683,173		

財産増減額(PL) ▲ 12,396,907 谷辰夫基金, ソーラー建築部会の冊子(資産)を含めると収支は±0

財産増減額(ソーラー建築書籍資産含) ▲ 9,756,907

2025年度特別会計収支予算案

自：2025年4月 1日
至：2026年3月31日

1. 出版事業

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	0	
書籍売上	0	改訂新版ハンドブック2冊
合計	0	

支出の部

科 目	予 算	備 考
販売経費	0	
期首棚卸し資産	0	
期末棚卸し資産	2,640,000	ソーラー建築ガイドブック
合計	△ 2,640,000	
次年度繰越金	2,640,000	